

インドネシア伝統舞踊ワークショップを開催しました (2026 年 10 月 13 日(火))

2026 年 10 月 13 日（火）、西予市で開催された「Chopin Village Festival」への参加に合わせて、インドネシアから遥々愛媛へ来られた「Nusantara Arts Forum (NAF)」のプロフェッショナルダンサー3名を迎え、愛媛大学城北キャンパスにて、「インドネシア伝統舞踊ワークショップ」を愛媛・インドネシア友好協会の主催で開催しました。

本イベントには、当協会の会員をはじめ、インドネシアの豊かな文化や伝統舞踊に関心を寄せる一般の方、学生など、約 30 名もの方々にご参加いただきました。全体の司会進行は、愛媛大学工学部研究員のエルニ・ジョハンさんが流暢で軽快なトークで務め、イベントを大いに盛り上げました。

今回のワークショップは、インドネシア文化を存分に体感できるよう、充実の3部構成で実施しました。

まず第1部では、NAFのプロフェッショナルダンサー3名による「ダナダナ舞踊」が披露されました。指先の細やかな動きから力強いステップ、そして色鮮やかな伝統衣装に至るまで、そのすべてが観客を魅了していました。愛媛にしながら、本場の「インドネシアの風」を吹き込んでくれるような、素晴らしい時間となりました。

つづく第2部では、NAFのメンバーが用意したスライド資料を使い、インドネシアについて、そして文化や踊りの背景にある意味について説明しました。参加者は、インドネシアや伝統ダンスについて学んだ後、ダンサーの皆さんのレクチャーのもとで、実際にサロン（伝統衣装）を着用したり、体を動かす体験をしました。独特の美しい音楽に合わせながら、基本のステップやポーズを楽しく練習しました。最初は慣れない動きに戸惑っていた参加者の方々も、次第に笑顔になり、一体感を持って踊りを楽しんでいる姿が印象的でした。

最後に第3部として、エルニさんをはじめとする在県インドネシア人の皆様が心を込めて作った、特製の「ナシゴレン（インドネシア風炒飯）」や「アルムアルム（インドネシア風ちまき）」、「バクワン（かき揚げ）」、「パルブトン（バナナのお菓子）」などを囲み、賑やかな交流パーティーを開催いたしました。

参加者は、本場の美味しい家庭料理に舌鼓を打ちながら、言葉や世代の壁を越えて国際交流を満喫しました。終了の時間ギリギリまで、パーティーのひとときを楽しんでいました。

ご参加いただいた皆様、そして素晴らしいパフォーマンスと美味しい料理を届けてくださった NAF および関係者の皆様、本当にありがとうございました。

インドネシア伝統舞踊ワークショップを開催しました (2026 年 10 月 13 日(火))

～イベントの様子～



インドネシア・文化・踊りについて説明しているところ

ダンサーによるダンス講習



全員で記念撮影

お手製のインドネシア料理を囲んでパーティー

